

# ぼた餅は観音さん

語り手…山崎 ツギさん(菱浦、明治32年生まれ)

昔がありました。

和尚さんと小僧さんと、あるお寺に二人おりました。

ところが、和尚さんが人の霊祭に行きて、留守の間に、隠しておった壺のものを食べてしまって、ほで(それで)、和尚さんが戻ってきて大変叱られて、

「ほんなら、わしが食べたか食べんか観音さんに聞いてみい」いうことで、叩いたら

「クワン、クワン」言った。

「そら、見さっしゃい。クワン言うだらが」言ったちゅう。

その昔。

(昭和50年5月31日収録)

■聞き手…池田百合香・若松紀子・  
福原隆正・酒井董美

**【解説】** 関 敬吾『日本昔話大成』でこの話の戸籍を見ると、「笑話」の中の「三 巧智譚」「B 和尚と小僧」に「餅は本尊様」と分類されているのに当てはまる。そこでは次のように紹介されている。

小僧が牡丹餅(その他)を盗んで食い、餡(あん)を金仏の口にぬっておく。和尚からとがめられて、犯人は金仏だという。和尚がたたくとくわんと鳴る。小僧が煮る(水に入れる)と、くつたくとと白状する。

山崎さんの話では、この戸籍から見ると、少し変形されてはいる。また壺の中身については具体的な物の名前は出てこない。聞き手が砂糖と

か、餅、あるいはぼた餅などと自由に想像するばかりである。しかし、まぎれもなくこの話は関博士の分類「餅は本尊様」に当てはまる。郷土部発行の『島前の伝承』第1号では、話のタイトルを「砂糖?は観音」としているが、壺のものを砂糖ではなかろうかと推定したものである。山崎さんは、中身の名前をつい語るのを省略されてしまったのであろうが、聞き手に壺の中をあれこれと想像させるような語りも、なかなかおもしろい。山崎さんによると、この話は祖母から聞かせてもらったとのことだった。



■絵:福本隆男(崎出身、三郷市在住イラストレーター)

隠岐島前高校郷土部収録

海士町の民話から(17)

■再話・解説

酒井董美たによし

(山陰民俗学会会長、  
元隠岐島前高校郷土部顧問)

## 珠算検定合格者

■全国珠算学校連盟検定

(9月24日実施)

〈第278回 珠算検定〉

2級 花岡 知世さん(福井)

6級 磯谷 和摩さん(北分)

〈第234回 暗算検定〉

3級 花岡 知世さん(福井)

5級 磯谷 和摩さん(北分)

